

80 外国漁船操業対策等

【13,344(14,162)百万円】
(平成26年度補正予算 3,175百万円)

対策のポイント

我が国周辺海域における外国漁船の違法操業に適切に対応するため、漁業取締体制の強化等により、安全操業の確保等による漁業者の経営安定化を図ります。

<背景/課題>

- ・外国漁船による違法操業は、水産資源管理の取組や我が国漁業者による円滑な漁場利用に対する大きな障害となっていることから、漁業取締体制を強化することが必要です。
- ・特に平成26年9月以降、小笠原諸島周辺海域に中国サンゴ船が入域する事態が発生し、我が国漁業者の操業に甚大な支障を与えていることに加え、宝石サンゴ資源の乱獲や海底環境の悪化が懸念されています。
- ・このような状況に対し、漁業取締体制の強化に加え、外国漁船の影響を受けている漁場の機能回復、被害救済への支援により、安全操業の確保等による漁業者の経営安定化が求められています。

政策目標

漁業取締りの強化等による水産資源の適切な保存及び管理の推進

<主な内容>

1. 指導監督及び取締費 13,067(12,644)百万円

外国漁船の違法操業への取締強化の要請等に対応するため、最新鋭の漁業取締船を用船するなど漁業取締体制の維持強化を図ります。

(事業実施主体：国)

2. 外国漁船操業対策 (平成26年度補正予算 3,175百万円)

(1) 小笠原諸島周辺海域におけるサンゴ密漁対策

(平成26年度補正予算 507百万円)

① 小笠原諸島周辺海域における中国違法サンゴ船対策

(平成26年度補正予算 100百万円)

漁業者による中国サンゴ船の操業状況の調査・監視、中国サンゴ船による漁具被害からの救済等を支援します。

韓国・中国等外国漁船操業対策事業で実施
補助率：定額
事業実施主体：一般財団法人 日韓・日中協定対策漁業振興財団

② 小笠原諸島周辺海域における漁業取締体制の強化

(平成26年度補正予算 275百万円)

小笠原諸島周辺海域における中国サンゴ船に対する取締体制を強化するため、漁業取締船の運航体制の強化及び装備の充実を図ります。

(事業実施主体：国)

③ 小笠原諸島周辺海域宝石サンゴ緊急対策事業

(平成26年度補正予算 132百万円)

宝石サンゴ資源等に関する調査を緊急的に実施し、中国サンゴ船の違法操業が宝石サンゴ資源及び海底環境等に与える影響を評価するとともに、宝石サンゴ資源の管理手法を検討します。

(委託費
委託先：民間団体等)

(2) 韓国・中国等外国漁船操業対策事業

(平成26年度補正予算 2,600百万円)

漁業者による外国漁船の投棄漁具等の回収・処分、外国漁船の操業状況の調査・監視等の外国漁船対策を支援します。

(2(1)①の事業(100百万円)を含む
補助率：定額
事業実施主体：一般財団法人 日韓・日中協定対策漁業振興財団)

お問い合わせ先：

1、2(1)②の事業	水産庁管理課	(03-3502-0942)
2(1)①、2(2)の事業	水産庁漁業調整課	(03-3502-8469)
2(1)③の事業	水産庁漁場資源課	(03-3502-8487)